



JForest

森林組合だより

平成26年9月1日

発行

第100号

広報 100号

本荘石沢地区の樹齢20年のスギ

本荘由利森林組合
由利本荘市水林381

TEL 0184 24 4141(代) FAX 0184 24 4143

HP <http://www.honmori.com/> メール honmori@trad.ocn.ne.jp

本荘由利森林組合合併20周年記念式典

7月26日、本荘グランドホテルで「本荘由利森林組合合併20周年記念式典」を開催しました。小松組合長のあいさつの後、功労者の表彰が行われ、ご来賓の方々より祝辞を頂戴しました。

《小松組合長 式辞》



本荘由利森林組合合併20周年記念式典にあたり、小松組合長が主催者を代表してあいさつをしました。

秋田県をはじめとする関係団体への謝辞、表彰者への感謝の言葉に続き、「県内一の蓄積を誇る民有林を、宝の山となるよう築き上げ、将来に亘り循環する森林の造成に、取り組んでいかなければならない。本荘由利森林組合一同、次のステージに向かつて組合員の皆様とともに更なる躍進を目指してまいりますので、一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。」と、式辞を述べました。

《ご来賓祝辞》



秋田県農林水産部森林技監
橋 政 行 様

本荘由利森林組合は経営基盤を大幅に強化し、森林の整備や木材の生産加工販売、海岸林・里山林の保全等、川上から川下まで幅広く事業を展開し、地域の産業振興や雇用の確保、環境の保全に大きな役割を果たされており、組合員加入の森林面積や加入率、造林や保育間伐の事業量でも県内一の規模であり、民有林政策の先導的な役割を期待されるものです。



由利本荘市長
長谷部 誠 様

地域林業の中心となつて事業を展開され8万ヘクタールに及ぶ民有林の総合的管理をはじめ組合員所有の山林管理や森林経営計画にもとづく保育生産事業等地域産業の発展に大きく貢献いただいております。製材工場も新たな製材機械の導入を計画され、生産量2倍を目標に取り組みられることは時機を得た取り組みであるとともに、地域林業の活性化にも大きく寄与するものと考えております。本市でも地元産材の利用拡大に向けて関係機関と連携を密にしながら取り組みを進めて参ります。



にかほ市長
横山 忠 長 様
(代理 副市長 須田正彦様)

秋田杉原木の低コスト生産と安定供給のため大型製材工場、木材流通センターの整備や施業の集約化、路網整備、搬出間伐の推進は、今後の低コストな生産体制を実現することにもなり、にかほ市も共通認識のもと、様々な支援を行っていきたいと考えております。森林資源は環境教育の場、癒しの場等多様な機能をもち合わせていて森林組合はそれら緑の社会資本を確保するためにも必要不可欠な存在であることを我々は再認識しなければならぬと思っております。



秋田県議会 副議長
佐藤 健一郎 様

貴組合におかれましては、複雑な社会情勢に的確に対応され、由利本荘地域の森林の保全・管理をはじめ、安定的な木材の供給や高品質な製品の提供に努めてこられました。木材産業が本県の重要な地場産業のひとつとしてさらに発展していくためには、木材製品のニーズを的確に捉え、木の良さを広く発信し需要を拡大することが重要であると認識いたしております。今後森林を所有する皆様の、さらなる社会的、経済的向上を目指すため森林経営の効率化、コスト削減を通じた競争強化や県産材の需要拡大にむけた取り組みについて一層努力を重ねて参ります。



秋田県森林組合連合会

代表理事会長

佐藤重芳様

安倍内閣の成長戦略「農林水産業・地域の活力創造プラン」において、新たな木材利用の創出と国産材の安定的・効率的な供給体制の構築等による、林業の成長産業化に向けた取り組みがはじまっております。経済界の提唱による林業復活・森林再生を推進する国民会議が創設されました。日本経済の一環として林業復活を唱え、国民全体の運動として盛り上げていこうとする業界を越えた取り組みも始まっております。連合会として、も全国一のスギ資源を背景に、県内森林組合が一丸となって原木の生産から再造林の推進による杉資源の循環利用を図り、秋田の林業振興に努めて参ります。



農林中央金庫 秋田支店長

山本興一郎様

貴森林組合は、森林林業再生に向けて、施業集約化、路網整備あるいは管内の学校をはじめとした植林活動であったり、森林組合まつりを開催したりと木材利用の拡大に大変精力的に取り組んでおります。農林中央金庫としても金融対応だけではなく、農中森力（ぢから）基金の設置や秋田県独自の取り組みで秋田駅前組子細工を寄贈したり、小学校で木育事業を行ったりとそれらを通じて、森づくり並びに国産材の利用拡大に繋がるサポートをしていきたいと考えております。



合併20周年と

組合だより発行

100号によせて

代表理事組合長 小松佳和

平成7年3月の合併以来、20周年の節目を迎えることとなりましたが、これも偏に組合員皆様のご理解とご協力並びに秋田県、由利本荘市及びにかほ市をはじめとする関係機関各位のご支援によるものと厚く御礼を申し上げます。

また、合併に際し、多大のご労苦にも関わらず合併を成し遂げられました元組合長様はじめ、多くの皆様に対し、衷心より感謝申し上げます。

特に、このたび表彰されました3名の皆様には、改めて感謝申し上げますとともに、これからもご健勝で一層のご指導願いますようお願い申し上げます。

さて、右肩上がりの高度経済成長時代から一転、バブル崩壊やデフレと続く景気低迷は、森林・林業・林産業にも大きな打撃となり、木材価格の低迷や森林所有者の山離れとなって現れ、里山林の荒廃が心配されました。

合併は正にその最中の出来事でしたが、林業再生に向け、製材所や木材流通センターの開設で、地域林業発展の起爆剤になるうとの取り組みであったと考えています。

その後、「森林・林業再生プラン」の推進による林業再生に向けた取り組みや、政府の国家戦略プロジェクトに掲げられるなど、森林・林業の重要性がクローズアップされ、より強い林業の再生へと突き進んでいるところです。CLTや木質バイオマス事業など、木材の利活用も多様となり、新たな事業展開を見据えた組合経営となりますので、ご支援くださるようお願い申し上げます。

また、瓦版からスタートした「森林組合だより」が、年5回を目的に継続発行し、記念すべき20周年の年に、第100号の発行となりました。

組合員の皆様に分かり易く、見易い紙面を心がけ、組合行事を主体に記事を載せてまいりましたが、皆様からのご意見を参考にしてより良い紙面づくりに邁進してまいりますので、今後もお指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

結びに、地域林業の発展と組合員皆様のご健勝をご祈念申し上げ、ごあいさつといたします。

功労者表彰

このたびの、20周年記念式典で、合併に際し特段の功績があつた元組合長3氏に表彰状と記念品を贈りました。おめでとございます。

尚、小松文一氏は欠席されました。



佐藤久弥氏 堀川悌二氏

【合併20周年記念式典】

午後2時から始まった記念式典は、総勢184名の出席で厳かに開会しました。

秋田県、由利本荘市、にかほ市はじめ関係機関から御来賓61名の出席で20年間の歴史に触れていただきました。



【記念祝賀会】

午後3時、祝賀会は、大館北秋田森林組合長大越勝男様に乾杯のご発声をいただき、緊張の式典から和やかな祝賀会へと移りました。



【アトラクション】

宴も序盤、鳥海芸能座一行による、民謡の唄と踊りで祝賀会を盛り上げていただきました。



【万歳三唱】

宴もたけなわ、まだまだ名残り惜しい様相でしたが、最後の締めとして、新秋木工業株式会社代表取締役社長佐々木健次郎様のご発声で万歳三唱を行いました。

合併20年の実績を踏まえ、輝く未来に向かって万歳三唱です。



連絡員会議開催

7月11日(金)、西目公民館「シーガル」を会場に全地区連絡員152名の出席を得て平成26年度連絡員会議を開催しました。
小松組合長の挨拶にはじまり、原田森づくり推進課長の挨拶を頂き、続いて、各課から組合の状況報告及び連絡をしました。その後、情報交換を行いました。



指導・総務事業関係
賦課金のお知らせ、年間行事、異動届のお願い、林業関係資金、林業・木材産業改善資金について

林産販売・丸棒加工事業関係
第270回・271回本組合共販市況、円柱加工部門の稼働状況、木材価格の推移

造林事業関係
平成26年度造林補助事業について
製材加工事業関係
平成25年度西目製材工場稼働状況



質疑応答(要旨)



【質問】CLT(直交集成材)等新しい技術が出てきているが、秋田県材の現在の実例を教えてほしい。

《応答》CLTは秋田県では試験段階。矢島木材乾燥でプラスチック注入のフローリングを開発中。



【質問】下刈り・雪起こし制限はなぜか、造林の意欲に関わる。

《応答》下刈りは7年生で樹高が高くなるので下刈り不要という判断、雪起こしは5年生で木が硬直するという判断のため。



【質問】造林の段階で10年位施業できる計算だったのでいきなりの変更は困る。変更するのであれば周知配慮が足りないのではないか。

《応答》今後は迅速に対応したい。



【質問】造林の補助金の単価は秋田と全国で違う。秋田県のランク等実態を教えてください。

《応答》補助金は県の予算や作業内容・人数・人件費等で違いが出るので一概には言えない。秋田県では標準単価を決めて補助金を算定している。

【質問】矢島で林地残材の持ち込み買い取りを行っていると聞いた。詳しい内容が知りたい。

《応答》由利本荘市の雇用創造事業の一環でNPOが主体となって行っている。旧矢島中学校跡地を集積場として、1㎡当たり5,000円で買取している。今のところ矢島・鳥海地区での取り組みである。

労働安全衛生大会

6月27日（金）矢島「日新館」で役職員92名の参加で、労働安全衛生大会を開催しました。

大会では、退職者感謝状贈呈と10年以上無事故無違反の優良運転者表彰が行われました。安全講話では鎌田労働安全コンサルタント事務所の鎌田浩一氏を講師に招き「熱中症対策について！」と題して講演を行いました。これから暑くなる時期ということもあり皆熱心に耳を傾けていました。

退職者感謝状贈呈

西目製材所 石垣 美和氏
本所林産班 畠山 忠芳氏

優良運転者表彰（10年以上5年毎）

無事故無違反30年 猪股 映子
無事故無違反25年 岡本 真貴子



安全宣言（造林課技能班 渡邊正明）



講師 鎌田浩一氏

地区組合員研修

由利地区

8月1日（金）、組合員31名の参加で組合員研修を実施しました。

北日本索道株式会社

チップ工場（湯沢市）

兼子社長より工場を案内をして頂きました。林地残材を少なくすることを信条とし、スギ材・雑材の安定供給に取り組んでいると説明を受け、今後、ナラ枯れによる雑山の伐倒増加・スギチップ材の有効活用が重視される等、意見交換をしました。



東由利地区

8月6日（金）、組合員27名の参加で組合員研修を実施しました。

集約化事業現場

・東由利黒瀨
・雄勝町秋の宮

東由利地区で集約事業の現場を視察後、雄勝広域森林組合で佐藤組合長様より現在の林業情勢についてお話を頂きました。その後、秋の宮で富谷栄助氏所有地の集約施業現場を視察しました。



第20回本荘由利森林組合造林コンクール開催要領

1. 趣 旨

この造林コンクールは、健全な活力ある優良林分を造成し、良質材生産を志向した保育作業の合理化と技術の向上を図り、由利地方民有林の森林整備事業の推進と実績を高めるため、本荘由利森林組合造林コンクールを開催し、合わせて所得向上に貢献することを目的とする。

2. 名 称 本荘由利森林組合造林コンクール

3. 主 催 本荘由利森林組合

4. 実施期間 申込：平成26年9月1日～平成26年10月15日

審査：平成26年11月1日～平成26年11月29日

5. 実施方法

参加資格

本荘由利森林組合組合員とする。（旧由利地方森林組合長会及び本荘由利森林組合主催の造林コンクールで入賞した林分は同一部門での申込はできません。）

参加林分の基準

平成25～26年度中に施業を実施した林分に限る。

A 人工林

(イ) 樹 種.....スギ

(ロ) 面 積.....0.10ha以上

(ハ) 林 齢.....植栽後 7年生以上

B 育成天然林

(イ) 樹 種.....広葉樹

(ロ) 面 積.....0.10ha以上

(ハ) 林 齢.....25年生以上

参加部門

第1部 幼齢林の部.....7年生～9年生

第2部 枝打ちの部.....11年生～30年生

第3部 保育間伐の部.....21年生以上

第4部 収穫間伐の部.....21年生以上

第5部 育成天然林の部.....25年生以上

参加申込

各支所に備え付けの参加申込用紙に記入の上、各支所経由で申込むものとする。

審査方法

審査委員長は、由利地域振興局農林部森づくり推進課長に依頼し、森づくり推進課員及び森林組合職員をもって審査するものとする。

審査基準

別に定める。

木材市況情報 (平成26年)

単位：円、上段（石当り価格）
下段 m³当り価格

			6月3日			7月2日		
樹種	材長 m	径級 cm	本荘由利木材流通センター			本荘由利木材流通センター		
			高値	安値	平均価格	高値	安値	平均価格
スギ	3.65	16~22	(3,000) 10,801	(2,499) 8,998	(2,900) 10,440	(3,075) 17,071	(2,638) 9,499	(2,967) 10,684
		24~34	(3,745) 13,484	(2,961) 10,661	(3,601) 12,966	(3,754) 13,517	(3,174) 11,429	(3,405) 12,260
出材量・販売量・販売率			1,981m ³ (7,132石)・1,981m ³ (7,132石)・100%			979m ³ (3,524石)・963m ³ (3,467石)・98%		
<p>6月：常連の量産工場と山形・新潟勢の参加により完売。単価は横パイで下がってはいない。旺盛な引き合いはまだ続きそう。</p> <p>7月：常連の量産工場と山形、新潟県勢の参加でほぼ完売。材質に応じてやや価格差はあるもののほぼ横パイからやや強含み。</p>								

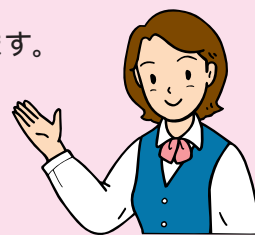
総務課よりお知らせ

～ 賦課金納入のお願い ～

納付期限が過ぎておりますが、未納の方は早めに納入をお願いします。
納付は、組合本所・支所及び下記の管内金融機関へ納入下さいませようお願いします。
なお、秋田しんせい農協では手数料がかかりません。

【取扱金融機関】

秋田銀行管内各支店 / 北都銀行管内各支店 / 羽後信用金庫本店・各支店
山形銀行本荘支店 / きらやか銀行本荘支店 / 秋田しんせい農業協同組合各支店



新たな会員の加入を歓迎致します。



仁鮎水沢スギ植物群落保護林きみまち杉前

7月30日・31日の両日、林業研究会通常総会及び視察研修が行われました。
参加者13名で能代市の旧料亭金勇、中田雅俊氏山林、秋三銘木、仁鮎水沢スギ植物群落保護林を視察しました。通常総会は能代市内のホテル大原で開催されました。

第17回通常総会及び視察研修

本荘由利森林組合
林業研究会

～ 広報担当者より ～

昨年の94号より広報を担当して、節目の100号を迎え大変恐縮です。以来、表紙の写真はどうでしょうか？記事はどうでしょうか？と試行錯誤しています。今度はこれまで通りの情報だけではなく、組合の事業の取り組み状況等を分かりやすくお伝えできるよう頑張りますのでよろしくをお願いします。

11月

組合員技術講習会

9月1日～10月15日

申込期間

造林コンクール

10月19日

森林組合まつり

9月～10月

各地区組合員研修

今後の行事予定

平成26年8月12日付で、豊嶋恵美さん（林産販売課主事）が退職されました。大変ご苦勞様でした。

退職者のお知らせ